

# 教科用図書調査研究専門員会報告書

教科	音楽
----	----

種目	音楽
----	----

発行者略称	教育出版社
-------	-------

教科書名	音楽のおくりもの
------	----------

所見
<p>1 学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ [共通事項] を核として表現と鑑賞を関連させた活動ができるような題材設定となっている。</li><li>○ 色々なジャンルの教材を示し、音楽活動することで、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育て、豊かな情操を養うようになっている。</li></ul> <p>2 内容について</p> <p>〈基礎的・基本的な知識・技能の習得〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 発達段階に応じて、読譜や楽器の奏法、発声法が分かりやすく丁寧に扱われている。</li><li>・ 楽器の奏法や歌い方が段階を経て示されており、ゆっくり着実に学習できるようになっている。</li><li>・ 4年から「歌声とリズムのトレーニング」のコーナーが設けられている。</li></ul> <p>〈思考力、判断力、表現力等の育成〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 表現活動においては、音楽の仕組みを生かし、思いや意図をもって [共通事項] との関連を十分に図りながら音楽を作れるよう、工夫されている。</li><li>○ 鑑賞のポイントが示されており、それに沿って聴き取ったり感じ取ったりしたことを書き留めるようになっている。また、自分の言葉で伝えたり、説明したりする活動につながるよう工夫されている。</li></ul> <p>〈主体的に学習に取り組む工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 活動のポイントや学習の振り返りが示されており、児童が主体的に活動できる工夫がされている。</li><li>・ アイコンやマーク・キャラクター等で活動のポイントが示されており、児童がそれに沿って主体的に活動できるようになっている。</li></ul> <p>〈教材の選択〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 音楽を特徴づける要素及び音楽の仕組みの関わり合いを感じ取りやすく、感覚的にも親しみやすい楽曲を教材として示している。</li><li>・ 共通教材が見開き6頁にわたり掲載されており、興味・関心を引く写真が大きく美しく載せられている。</li><li>・ [共通事項] との関連を十分に図った楽曲選択がなされている。</li><li>・ 音楽を形づくっている要素の働きを感じ取って、様々な発音や発声等の歌い方ができるよう、多様な楽曲が示されている。</li><li>・ 児童の興味を引く教材や楽しく歌唱できる教材が豊富に示されている。</li></ul> <p>〈学習内容の明確化〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 学習内容にそった題材設定がなされている。</li><li>○ それぞれの教材毎に [共通事項] アが示されており、そのすぐ下に [共通事項] イが示されている。</li><li>・ 各題材のねらい毎に [共通事項] が右上に葉っぱの印で明示されている。</li><li>・ それぞれの教材に対して題材のねらいに迫るための具体的な学習のねらいや「活動のポイント」が示されている。</li><li>・ 既習した学習内容を振り返りながら次への活動につなげられる「学習のふりかえり」が示されている。</li></ul> <p>〈表現及び鑑賞の活動の関連〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ [共通事項] を核として、題材に沿って表現（歌唱）と鑑賞や表現（音楽づくり）と鑑賞とを関連させた活動ができるよう工夫されている。</li></ul> <p>3 資料について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 『音楽のもと』まとめとして [共通事項] アが示されており、見開きに [共通事項] イが示されており、それらが巻末に一覧表で示されている。</li><li>・ 「君が代」が全学年にわたり掲載されており、歌詞の意味も分かりやすく示してある。</li><li>・ 各学年に全校合唱のできる楽曲が「音楽ランド」として掲載されている。</li><li>・ 4年生以上に著名な音楽家のメッセージが巻頭に掲載されている。</li><li>・ 高学年は中学生を意識した資料がある。</li></ul> <p>4 表記・表現</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 学習のねらいの中の [共通事項] が色分けして強調されている。</li><li>・ [共通事項] アが、右側にまとめて表記されていて分かりやすい。</li><li>・ 色覚の個人差を問わず多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮して作られている。</li><li>・ 特別支援教育の視点にたった色使いや配置となっている。</li></ul>

# 教科用図書調査研究専門員会報告書

教科	音楽	種目	音楽
発行者略称	教育芸術社	教科書名	小学生の音楽

所見
<p>1 学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ [共通事項] を核として表現と鑑賞を関連させた活動ができるような題材設定となっている。</li> <li>○ 楽しみながら音楽活動することで、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育て、発達段階に即した教材提示や音楽活動により基礎的能力を培い、豊かな情操を養うようになっている。</li> </ul> <p>2 内容について</p> <p>〈基礎的・基本的な知識・技能の習得〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 読譜、奏法、発声の基礎的・基本的な技能が身に付くように、スパイラルに教材が配列されている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鍵盤ハーモニカの音の位置がわかりやすい。</li> <li>・ リコーダーの運指を早めに身につけられる教材配置になっている。</li> <li>・ 楽器の奏法、歌い方が丁寧に示されている。</li> <li>・ 歌唱においては、低学年では歌うことの楽しさを味わわせ、中学年では明るい歌声を作り、高学年では豊かな歌声を作る等、学習が深まるように題材が設定されている。</li> </ul> </li> </ul> <p>〈思考力・判断力・表現力等の育成〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 曲想にふさわしい表現の工夫ができるような題材提示や学習活動が示されている。</li> <li>○ 鑑賞活動においては、聴く目当てが分かりやすく示されており、聴き取ったり、感じ取ったりした内容が文章で書き込める欄がある。また、その題材に即した豊富な発言例が示されているため言語活動につながりやすい。</li> </ul> <p>〈主体的に学習に取り組む工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「音楽作り」が題材内で歌唱・器楽・鑑賞と関連させながら確実に授業が行え、児童が主体的に学習に取り組む工夫がされている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動を広げたり、深めたりできるような、ワンポイントアドバイスが示されていて、それに沿って、児童が主体的に活動できるようになっている。</li> <li>・ 教科書の中の子どもたちの発言を例示して、それをもとに主体的な活動ができるようにしている。</li> </ul> </li> </ul> <p>〈教材の選択〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習内容に沿った教材選択がなされている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共通教材の扱いが丁寧である。4曲ともに解説がついていて、歌詞の内容がわかりやすい。</li> <li>・ 身体反応をしやすい鑑賞教材がある。</li> <li>・ 拍子やリズムに重点を置いた題材設定や教材選択がされている。</li> <li>・ 我が国の音楽や諸外国の音楽など文化とのかかわりを感じやすい教材が提示されている。</li> </ul> </li> </ul> <p>〈学習内容の明確化〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「何を目標に」「具体的にどのような活動を通して」「何を学ぶのか」が一目で分かるような紙面があり、児童に分かりやすい表現で [共通事項] を文中に示している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 題材のねらいに迫るための学習課題、具体的な活動、学習内容が示されている。</li> <li>・ 「ダン」というキャラクターを通して、活動のねらいを明確に示している。</li> <li>・ 一つの題材に「新しく覚えること」として学習内容である [共通事項] が明示されている。</li> </ul> </li> </ul> <p>〈表現及び鑑賞の活動の関連〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一つの題材の中に、[共通事項] を核として表現（歌唱・器楽・音楽づくり）と鑑賞を関連させた活動ができるように工夫されている。</li> </ul> <p>3 資料について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3年生以上の教科書に載っている音楽プリズム、鑑賞資料、音楽の歴史を作った人が資料としてあり、見やすい。</li> <li>・ 共通教材の解説が詳しく載っている。</li> <li>・ 5, 6年の鑑賞教材に示されていた音楽の解説が詳しく掲載されている。</li> <li>・ 音色や旋律、曲想などを図形で表し、音をイメージしやすいような資料が載せられている。</li> <li>・ ふり返りのページに [共通事項] アが示されている。</li> <li>・ [共通事項] が確認できるように巻末にまとめられている。</li> </ul> <p>4 表記・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 題材が色別で示されている。</li> <li>・ 歌詞が写真や絵と重なったとき、見やすいような表記になっている。</li> <li>・ 色の見分けのつきにくい児童にもわかりやすい色使いになっている。</li> <li>・ 特別支援教育の視点にたった色使いや配置となっている。</li> </ul>